

事務事業評価シート

(H.28)No.	3080	(H.27)No.	3080
-----------	------	-----------	------

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	321005
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	かんがい排水施設管理費	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	土地改良施設維持管理適正化事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	5 計画的な集落環境整備
	重点施策コード	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
ほ場整備実施から相当年数が経過し、老朽化が進みつつある土地改良施設について、適正な維持管理を行うことにより、長寿命化を図ることができる。
事業内容
事業主体 : 名張市土地改良区
<事業内容> 土地改良施設維持管理適正化事業に対する補助金 <対象者> 名張市土地改良区 <負担割合> 国30%・県30%・改良区30%・市10%

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	事業費:3,000千円 福地橋水管橋(塗装):3,000千円 名張市は10%負担のみ	事業費:7,000千円 八幡幹線水管橋(修理):5,000千円 西原幹線用水路(修理):2,000千円 名張市は10%負担のみ

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
事業費:3,000千円 名張市は10%負担のみ	事業費:3,000千円 名張市は10%負担のみ	事業費:3,000千円 名張市は10%負担のみ

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	300千円	700千円	300千円	300千円	300千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 300	700	300	300	300
人工数	職員	0.06人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 473千円	397千円	397千円	397千円	397千円	
①+②総事業費	(0千円) 773千円	1,097千円	697千円	697千円	697千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
施設の老朽化が進み、補助制度の拡大について要望が寄せられている。	原材料支給等の他の事業を活用し、土地改良区や地元と連携して極力施設の長寿命化を図ることにより、補助金の増加を抑制する。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	この事業により農業施設の適正管理が図られ、農村環境整備に貢献できた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	土地改良区により日常的な維持管理が図られている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
今後も施設の老朽化による修繕料等が増えていくことが予想されるため、地元受益者の負担軽減のため継続して支援をしていく必要がある。	